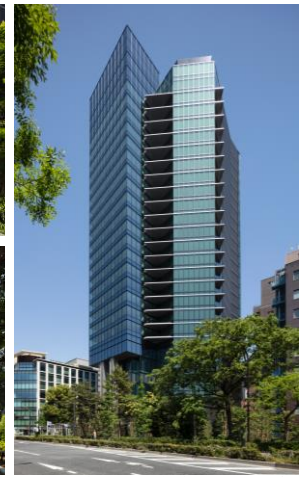


## 住友不動産御成門タワー 「港区みどりの街づくり賞」を受賞 ～芝公園との連続性・一体性を形成し、新たなみどりの拠点として評価～

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順)が運営する「住友不動産御成門タワー」(東京都港区、2018年5月竣工)が、この度、令和2年度「港区みどりの街づくり賞」を受賞いたしました。



公道と敷地内公開空地が一体となった緑化整備



住友不動産御成門タワー外観

「港区みどりの街づくり賞」は、優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の緑化施設を表彰し、地域緑化への協力に感謝を示すとともに、さらなる民間緑化の発展を願って平成16年度に創設された賞です。

当社は本開発において、地区全体の緑被率を約35%確保することで芝公園と一体的な緑化空間を形成し、ヒートアイランド現象の緩和など環境にも配慮しておりますが、今回は以下の点が評価され、受賞に至りました。

### <港区の評価コメント>

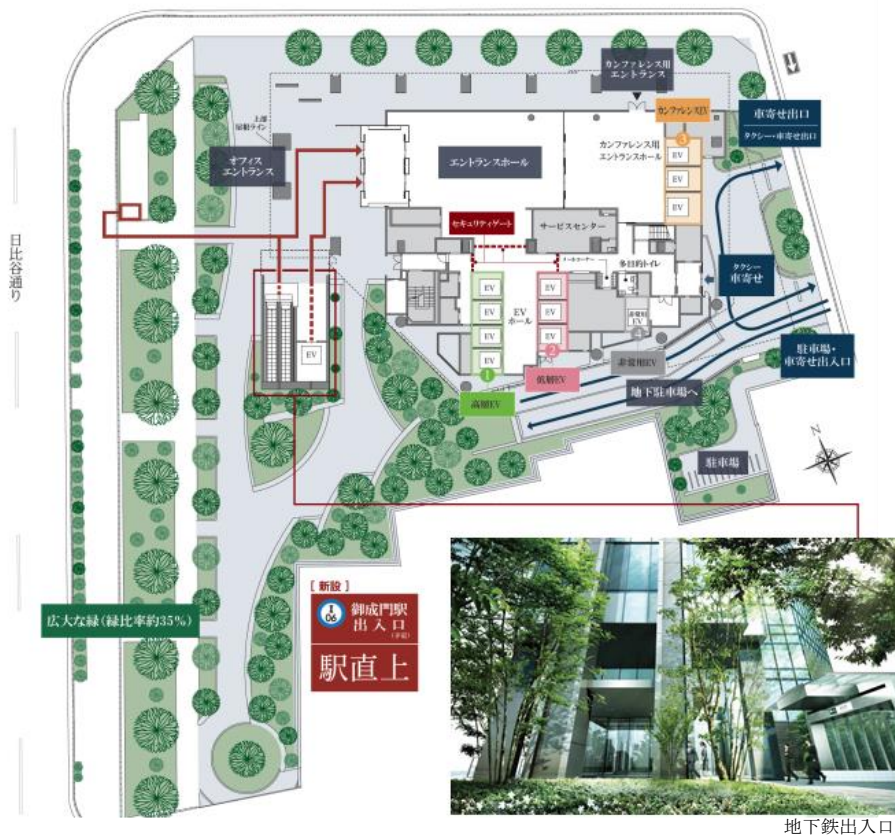
- ①既存の緑地の存在を軸に、みどりのネットワークが生まれ、対象地をうまく位置付けている。とくに芝公園のみどりと緑づけることで、芝公園の既存のみどりをワガモノとする工夫が込められている。大規模な再開発でありがちな、広々としたオープンスペースではなく、既存木、植栽木で構成された空間が用意され、落ち着いた雰囲気を醸し出している。地下鉄に出入口を擁す当地は多くの人々が目にする新たなみどりの拠点となっている。
- ②本計画の特筆すべき点は、やはり芝公園との連続性・一体性を形成し、日比谷通りの緑の軸を強化した点であろう。それが、俯瞰的なスケールでの概念的操作に終わることなく、周辺の緑地や樹種、市街地などの性質から導かれた、性格の異なる緑地帯の群を形成することで、実現している点である。それによって、また地下鉄出入口やベンチのある休憩所が、緑豊かな公開空地として、ゆたかな公共空間体験を形成している。

当社は、今後も「環境・社会に配慮した性能」を兼ね備えた価値の高い社会資産を創造し、より一層、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## ■ 物件概要

所在地	東京都港区芝公園一丁目2番2号 他(地番)
交通	「御成門」駅徒歩1分・直上(都営三田線)
	「大門」駅徒歩6分(都営浅草線・大江戸線)
	「神谷町」駅徒歩8分(東京メトロ日比谷線)
	「浜松町」駅徒歩10分(JR線)
竣工	2018年4月30日
事業主	住友不動産株式会社
設計	株式会社日建設計
施工	三井住友建設株式会社
構造	地上:鉄骨造(柱CFT)、中間免震構造
階数	地上22階、地下2階、塔屋2階
最高高さ	GL+128.07m
敷地面積	3,710.24㎡(1,122.37坪)
延床面積	32,631.26㎡(9,8971.21坪)
総貸室面積	18,492.39㎡(5,594.09坪)
基準階面積	1,025.06㎡(310.08坪)～1,029.65㎡(311.47坪)

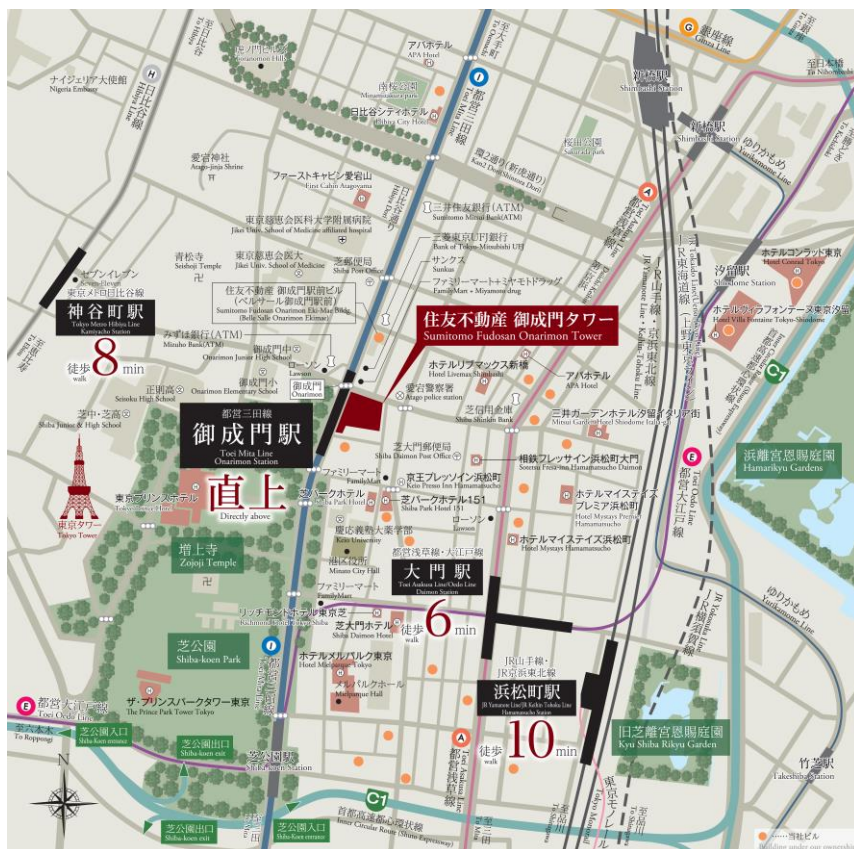
## ■ 敷地配置図



本開発では駅直上の立地における都市開発の公共施設設備として、地下鉄「御成門」駅と地下で接続、バリアフリーの新出入口を敷地内公開空地に設けるとともに、敷地周囲の歩道状空地やピロティにより、来街者が安全で快適に歩行できる空間整備を実施いたしました。



■ 現地周辺地図



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本リリースに関する取り組みは、以下のSDGs目標に貢献しています。



目標11:包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する

目標13:気候変動及びその影響を軽減するために緊急対策を講じる

目標15:陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

弊社では「よりよい社会資産を創造し、それを後世に残していく」を基本使命として掲げ、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでおります。今後も、「環境・社会に配慮した性能」を兼ね備えた価値の高い社会資産を創造し、より一層、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

弊社のESG、SDGsに関する取り組み

<http://www.sumitomo rd.co.jp/sustainability/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報部 服部 TEL:03-3346-1042